

基本方針に基づくプロジェクト（今年度で完了するプロジェクト）

※No...基本方針に記載の番号

エリア	No	プロジェクト	担当	万博までの進捗
神戸	1	新たなアリーナの活用	神戸市	R7.4月に「GLION ARENA KOBE」を開業。
	3	須磨再開発を通じた賑わい創出	神戸市	R6.6月に開業した「神戸須磨シーワールド」の累計入館者数が200万人を突破。
	4	海上交通の活性化	神戸市	須磨と淡路を結ぶ海上交通実証実験を実施（R4～R6）。R7.7月下旬～8月下旬の間、企業から寄付いただいた万博チケットを活用し、市内在住の親子を対象に、神戸～夢洲間のクルーズ体験（計13回）を実施。
	5	神戸大阪新規航路の就航	SDGs推進課	万博開催期間中は、民間主導により神戸港・神戸空港～夢洲港、神戸港～天保山の不定期航路が実現。（計4社）
阪神	9	工場地帯の特徴を活かしたイベント実施	SDGs推進課	「ひょうご楽市楽座」のステージイベントとして実施。
	11	万博を契機とした兵庫の魅力発信	SDGs推進課	尼崎フェニックス事業用地にて、万博期間中の土日限定ナイトマーケット「ひょうご楽市楽座」を実施。 総来場者数は102,600人、平均来場者数は2,100人/日を計上。
淡路	18	夢舞台温室（あわじグリーン館）の展開	公園緑地課	環境教育プログラム及び体験型イベントの強化によりSDGsへの理解を促進。（32回開催）
	24	淡路交流の翼港の活用	港湾課	浮棧橋の改良により万博会場への直行便の発着地として活用。
	25	次世代モビリティの実証実験（自動運転＜二次交通＞）	地域整備振興課	R7.5.15～5.26に自動運転乗車体験を夢舞台地区にて実施。
全域	27	クルージングMICE	SDGs推進課	クルージングMICE補助金事業を実施し、R7年度は6件（見込）の申請を受領。 神戸-大阪間に加え、瀬戸内エリア側（姫路-家島）の展開も支援。

基本方針に基づくプロジェクト（神戸・阪神エリア）

※No...基本方針に記載の番号

エリア	No	プロジェクト	担当	万博までの進捗
神戸	2	都心に近接した水域の活用	神戸市	優先交渉権者（株式会社ジーライオンほか）との事務的な調整を実施。
阪神	6	マリンスポーツの認知度向上及び賑わいづくり	阪神南県民センター	WEBサイトやリーフレットによる周知広報、マリンスポーツ体験会を実施。
	7	兵庫県発祥の美術「具体」の活用による地域ブランド力向上	阪神南県民センター	県内の「具体」展の情報や関連イベント、施設等を紹介する紙マップを作成し、関係美術館、楽市楽座会場等で配布。
	8	新西宮ヨットハーバーの活用	港湾課	せとうちDMOと共同で海外ヨットショーへのブース出展を実施。 (5月：豪州、9月モナコ)
	10	尼崎運河の魅力創出	阪神南県民センター	賑わい創出イベント「尼崎運河魅力アップ（クルーズ&ウォーク）」を開催。英語字幕付き動画による国内外への情報発信や、民間主導による大阪・関西万博FP「尼崎運河クルーズツアー」等を実施。
	12	武庫川下流部の干潟再生による生物多様性の向上	河川整備課	R7年2月に潮止矢板の設置を完了、同月に潮止堰を転倒したことで干潟の再生が進捗。 小学生を対象とした環境学習等を企画・実施。
	13	産業都市の特性を活かした取組 （臨海部での脱炭素の取組）	尼崎市	地域一体型オープンファクトリーの開催。
	14	次世代モビリティの実証実験 （自動運転トラック）	三井物産	首都圏と京阪神を結ぶ高速道路上での実証実験等を実施。商用運行も開始。

基本方針に基づくプロジェクト（淡路エリア・全域）

※No...基本方針に記載の番号

エリア	No	プロジェクト	担当	万博までの進捗
淡路	15	ホテルと食の人材育成	パソナ 農援隊	「としまスコラ」内にて地方創生料理人を育成するプログラム「Awaji Chef's Scuola」を開始。
	16	ラグジュアリーホテルの誘致	SDGs推進課	事業者への働きかけを継続。 ※神戸空港国際化や六甲山再開発（サイレンスリゾート等）の動向を踏まえ実施
	17	個性的な宿泊施設の誘致	洲本市・ 南あわじ市	実施なし
	19	公共施設の活用	洲本市・ 南あわじ市	丸山地域における持続可能な賑わいの創出と経済的基盤の形成を目指し、丸山漁港施設を活用して「海業(うみぎょう)」を実施する民間事業者を選定。
	20	大型クルーズ船の誘致	洲本市	洲本港に寄港。寄港時には歓迎セレモニーを実施。
	21	大鳴門海峡周辺の賑わい創出	南あわじ市	大鳴門自転車道整備や道の駅の改修等により、サイクルツーリストや観光客の受入環境を強化。
	22	観光ガイドの養成	南あわじ市	南あわじ市認定観光ガイド第3期4名を認定。（計16名） 観光ガイドのロゴマークを作成。
	23	徳島空港アクセスバスの実証運航	南あわじ市	市独自の運行支援及びPRイベントを実施。（KITTE丸の内、福岡空港） JAL機内誌への掲載、関東圏鉄道広告を掲出。
全域	26	夢舞台サステナブルパークでのカーボンニュートラル	淡路市	国営明石海峡公園外4施設での再エネ設備の導入。 淡路市夏まつりで脱炭素をへの取り組みを紹介するPRブースを出展。
	28	次世代モビリティの実証実験（水素船）	SDGs推進課	実施なし

基本方針に記載のないプロジェクト（完了したものを含む）

エリア	プロジェクト	担当	万博までの進捗
阪神	鳴尾浜臨海公園南地区の再整備	西宮市	Park-PFIによる公園再整備事業の募集要項・公募設置等指針を公表。
	尼崎フェニックス事業用地の活用	港湾課	港湾緑地（のびのび公園）の管理運営事業の優先交渉権者を選定。事業用地の各ブロックの分譲にかかる譲受人を募集・選定。
淡路	地域創生リーダーの育成	パソナグループ	R9.4月の開学に向け、R7.10月に文科省に申請を実施。
	AWAJI島博2025の開催 済	淡路島観光協会	令和7年3月20日～10月13日に開催。 首都圏観光客・インバウンドの誘客を増加するべく、淡路島ならではの体験型観光プログラムの開発・販売を促進。
	淡路花みどりフェア2025の開催 済	公園緑地課	令和7年3月20日～4月27日に開催。 「人と自然の持続的な共生のあり方」をレガシーとし、万博の機会を捉えて国内外に効果的に発信。
	津名港周辺の未利用地の再整備による地域活性化	淡路市	未利用地所有者である兵庫県の関係者とのミーティングを実施。
	淡路夢舞台の創造的再生	企業庁総務課 国際課 公園緑地課 港湾課	大阪湾ベイエリアの新たな展開を見据え、民間活力の導入により、地域の活性化を牽引する拠点として淡路夢舞台を創造的に再生。 令和7年9月に中間報告。年内に最終報告公表の見込み。
全域	「大阪湾MOBAリンク構想」の実現	水大気課	総会やセミナーの開催のほか、万博パビリオンに出演。 「ロゴ」や「大阪ブルーカーボン宣言」を決定。
	次世代モビリティの実証実験（空飛ぶクルマ）	新産業課	県内の行われた17件の実証・調査に対して補助を実施。
	ウェルネスツーリズムの取組	観光振興課	R6年度に「六甲有馬・淡路島WellnessDestination」検討ワーキングを設置。 「ひょうご新観光戦略」中間見直しにて、ウェルネスツーリズムを今後の全県方針に位置付け。
	海上交通瀬戸内連携プロジェクト	SDGs推進課	県内各地の港湾に関する需要動向を調査し、県内外との広域連携を推進。

基本方針に記載のないプロジェクト（大型公共事業）

エリア	プロジェクト	担当	万博までの進捗
全域	神戸空港国際化	神戸市	※詳細は神戸市、関西エアポートにヒアリングを予定 ・令和7年4月18日からソウル、台北、上海など国際チャーター便の運航を開始 ・令和12年（2030年）頃に国際定期便の就航予定
	大阪湾岸道路西伸部 （六甲アイランド北～駒栄）	情報提供は 兵庫県	・平成28年4月 事業着手(国・直轄道路事業) 平成29年4月 有料道路事業導入（阪神高速道路(株)が事業者として参画） 平成30年7月 国・直轄港湾事業参画 ・令和7年度現在、 六甲アイランド内は、下部工工事に加え、一部、上部工架設工事に着手。 六甲アイランド～ポートアイランド～和田岬～駒栄地区は、設計中 駒栄地区は、開削トンネル工事等を実施中
	名神湾岸連絡線	情報提供は 兵庫県	・令和3年4月 事業着手（国・直轄道路事業） ・令和6年4月 有料道路事業導入（阪神高速道路(株)、西日本高速道路(株)が事業者として参画） ・令和7年度現在、全線で設計中
参考	統合型リゾート大阪IRの開業	-	・大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画の認定申請を 令和5年4月14日に認定済み ・現状、実施協定の締結・認可まで終了（令和5年9月22日認可、9月28日締結） ・令和12年（2030年）秋ごろ開業予定
	リニア中央新幹線の開業	-	・令和9年（2027年）以降、品川-名古屋間の開業予定 ・令和19年（2037年）～令和27年（2045年）の間に名古屋-大阪間の開業予定